

仙台の施設 読売療育賞



視線コントロールの練習をする入所者（右）と近江さん（仙台エコー医療療育センター提供）

重症心身障害児者施設で働く職員の優れた実践研究に贈られる「第18回読売療育賞」（読売光と愛の事業団主催）に、仙台市青葉区の医療型障害児入所施設「仙台エコー医療療育センター」が選ばれた。視線入力装置を使ったりハビリや日常コミュニケーションの実践研究に取り組みしており、作業療法士の近江奈津子さん（40）は「利用者の豊かな日常生活にながればうれしい」と話した。

視線入力装置で意思疎通

同センターでは、脳性マヒや交通事故の後遺症などで重度の身体障害と知的障害がある約120人が生活。日々の活動で運動機能や生活動作の維持向上に取

り組んでいる。今回受賞した研究には、近江さんら作業療法士や理学療法士、医師のチームであった。

研究のきっかけは、手を動かしたり言葉を使ったりするのが難しい入所者とのやりとりだった。テレビを見ながら「このアイドルかわいいね」と話しかけると、入所者がにこっと笑った。職員は普段、入所者の目線や表情のわずかな変化で感情を推察していたが、「目の動きで気持ちを伝えるこ



作業療法士 近江奈津子さん

とができるのでは」と、このとき思ったという。

2018年から島根大の重度障害者支援チームが開発した視線入力訓練アプリの使用を開始。パソコンを視線入力機器につなぐと、画面上に利用者の視線の動きが表示され、何を見ているかが客観的にわかる。65歳の男女15人に対し、リハビリに使う道具の写真を選択してもらうなど、入所者の意思を伝える機能を強化することに活用してきた。

近江さんは、20歳代女性の反応が印象に残っているという。以前は呼びかけが伝わっていないか不安だったが、目を向けた先から音が鳴るアプリを使うと、女性を意識的に見ていることが分かった。自分が見ることで音が鳴る「変化」を楽しむ、大きな声で笑った。「こんなにもはっきりと見ている。私たちとも目を合わせていたんだ」と気づき、うれしくなった。センター外で経験を積み

ことが難しい入所者は、言葉や手足を使えないと日常生活で選択する機会が少なく、受動的になりがちだ。だが、視線の動きで変化が起きる経験を重ねれば、入所者の活動は能動的になっていくことが期待できるという。近江さんは、今後実践を続けるとして、「より多くの入所者に自分で選択して変化を起こすという経験をしてもらいたい」と話している。

仙台市況

青果

（仙台中央卸売市場）

（円内数字は取引単位のキロ数）
（産地名のないのは県内物）

ダイコン	1080	864
ニンジン	620	1404
ゴボウ	296	324
ホウレンソウ	756	648
キャベツ	864	756
レタス	108	54
⑩(千路)		
⑪(茨城)		
⑫(青森)		
⑬(玉)		
⑭(茨城)		
⑮(M.O.2)		

魚類

（仙台中央卸売市場・
キロ・地名のないのは
は県内産水揚げ）

入荷125ト

高値安値	3780	864
	648	367
	1080	648
	4860	2465
ヒママシ		
ラガコ		
メレイ(福島)		
メレイ(北海道)		

明和病院などでしこ奨励賞

コロナ禍 児童宅で発達支援

読売療育賞

重症心身障害者施設で働く職員の優れた実践研究を表彰する「第18回読売療育賞」（読売光と愛の事業団主催）の奨励賞に、明和町の「済生会明和病院などでしこ」が選ばれた。職員が通所困難な児童の自宅を訪れて支援し、通所の再開につなげた実績が評価された。

研究は、現在6歳の男子児童らに保育士の城山真麻さん(40)ら4人が行った支援の成果がまとめられた。障害や病気で外出できない子どもの自宅を職員が訪れ、発達を促す訓練などを行うサービスは「居宅訪問

型児童発達支援」と呼ばれ、2018年に制度化。なでしこではその頃から取り組んでおり、現在は、施設から車で15〜25分圏内に住む2人が利用している。城山さんが担当した男児は、19年9月頃から施設に



男児宅で使っていた楽器を紹介する城山さん(明和町で)

通所。ただ、基礎疾患を持ち、感染症の恐れがあることから同年12月に通うのをやめた。支援を受けられなくなった影響で、特定の事柄のみに関心を示し、不安がるようになったという。そこで20年9月、城山さんが男児の自宅を訪れ、週1回の支援を始めた。1回40〜50分で、シール貼りやウクレレの楽器演奏を行うなどして一緒に楽しんだ。

当初はあまり関心を示さずとなかったものの、次第に変化。タンバリンなどに手を伸ばすようになり、6か月が過ぎると、笑顔を見せるようになった。家族を前に行う支援の効果について、城山さんは「同じようなことを家族も試すようになり、たいへん意義深い」と話す。

一方で、特に気遣ってきたのが、新型コロナウイルス対策だ。フェースマスクを装着し、マスクを二重にかけるなどしたが、表情がよく見えなくなるため、目元などを通して表情が伝わるように心がけた。こうした対応で、男児や家族との間で信頼関係が築かれ、体調を崩すことも少なくなったため、男児は小学校の通学も見据えて施設に通い始めたという。城山さんは「初の学会発表に向け、周りの職員たちに助けてもらった。今回の経験を職員全体で共有し、児童の支援にさらに力を入れたい」と抱負を語った。

新型

コロナ

2066人感染

県は23日、新型コロナウイルスに2066人が感染したと発表した。直近1週間の人口10万人

「ベルデさかい」に奨励賞

入所者一人ひとりに注目

読売療育賞

重症心身障害者施設で働く職員による優れた実践研究に贈られる「第18回読売療育賞」（読売光と愛の事業団主催）の奨励賞に、堺市堺区の「市立重症心身障害者（児）支援センター「ベルデさかい」」が選ばれた。入所者一人ひとりに注目の時間「スペシャルタイム」を設けることで、それぞれの状況を職員が深く理解する取り組みが評価された。

（川口崇史）

同センターでは、入所者注目する企画「スペシャルタイム」に異なる障害の特性や「デイ」を始めた。支援計画を職員間で情報共有しようと、昨年4月、一日1回以上は名前を呼び、日を通して1人の入所者に触れ合うようにした。さ



受賞を喜ぶ小沢さん（左）と野田さん（堺市堺区で）

らに、午後2〜3時を「スペシャルタイム」と位置づけ、担当職員がほかの職員に向けて入所者の支援計画を紹介するほか、本人や家族の希望に沿って、▽公園を散歩しながら写真を撮る▽子どももの頃に好きだったラーメンを食べる▽自分の部屋での様子をみんなに知ってもらおう—といったユニークな活動を実施する時間としてきたという。

今回受賞した研究では、昨年10月から今年4月の約半年間に実施した計78回のスペシャルデイを通じて、職員の入所者への理解度がどう変化したかをまとめた。アンケート結果から、「生活支援員」「看護師」「リハビリ担当」のいずれの職種でも理解度が深まっていたほか、勤続年数別で見ると「3年未満」の職員で大きく向上していたことがわかったという。

導入前は、担当していな入所者の支援状況については詳しくわからない状態だったといい、入所・短期支援部長の小沢明人さん（59）は「広く、浅くでいいから、担当以外の入所者の

ことも知ってもらいたかった」と狙いを話す。

生活支援員のリーダー野田瑞希さん（27）は「職員は生き生きと取り組み、そうすることで入所者もすくすくいい表情を見せてくれるようになった」と手応えを話し、「入所者のことを考える時間をもっと作っていきたい」と抱負を語った。



茶の湯

一服一銭五つ誓う

社寺の門前で茶を売る「一服一銭」に携わる者が、東寺(教王護国寺)に提出した誓約書。①決まった場所で営業する②毎日掃除をする③寺に道具を預けない④寺の水や火を使わない⑤遊女を集めて接客しない――の5点

一服一銭とは、東寺の門前で茶を売る「一服一銭」に携わる者が、東寺(教王護国寺)に提出した誓約書。①決まった場所で営業する②毎日掃除をする③寺に道具を預けない④寺の水や火を使わない⑤遊女を集めて接客しない――の5点

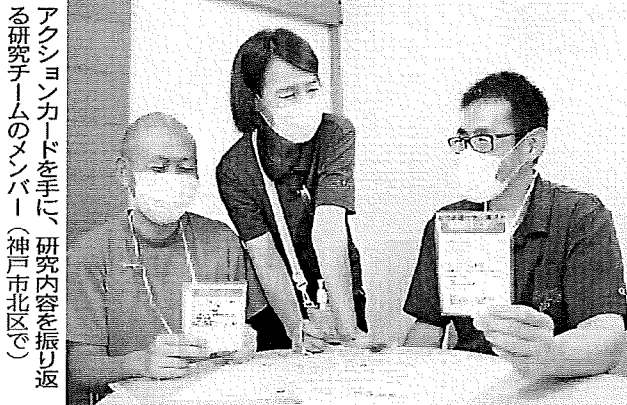
国宝 南大門前茶商人沙弥浄音条々請文
「東寺百合文書」のうち

室町時代 応永18年(1411)
京都府立京都学・歴史館

を誓い、違えた場合は追放されても文句を言いませんと結ぶ。②と⑤は、以前の請文には見られない項目であり、喫茶文化の広まりとともに、こうした茶屋が賑わいをみせる反面、取り決めを守らずに営業する者が多くいたことが分かる。

京都国立博物館学芸部
列品管理室長 羽田聡

【会期】12月4日まで。月曜休館。
【会場】京都国立博物館(京都市東山区)
【主催】京都国立博物館、読売新聞社、文化庁
【問い合わせ】050・525・2473 (テレホンサービス)
詳細は <https://ts.umugu.yomiuri.co.jp/chanoyu2022/> で。



アクションカードを手に、研究内容を振り返る研究チームのメンバー(神戸市北区)

神戸の福祉施設 奨励賞

読売療育賞 小規模避難訓練重ね

重症心身障害者施設で働く職員の優れた実践研究に贈られる「第18回読売療育賞」(読売光と愛の事業団主催)の奨励賞(助成金30万円)に、神戸市北区の「神戸医療福祉センター」にここの「ハウス」が選ばれた。職員が多忙で施設内の避難訓練に参加できない課題を、小規模な訓練を重ねて解決につなげる研究で、チームの一人で看護師の久保幸一さん(38)は「利用者の安全を確保できる仕組み作りを評価してもらえた」と喜び、2001年に開所した同

施設は現在、医療型障害児入所施設と療養介護事業所を運営し、約80人が入所している。外来診療や児童発達支援・放課後等デイサービス、生活介護事業も行っており、障害のある人らを幅広く支援している。これまで施設では、職員約10人と利用者約20人を対象に、地震や火災の発生を想定した大規模訓練を年2回、部署ごとに職員約8人と利用者約10人で行う小規模訓練を年3回実施していた。だが、多忙な職員の不参加が続いたり、A4用紙にまとめたマニュアルがわかりづらく、訓練が長時間に及んだりするという課題があった。

そこで久保さんや介護福祉士など4人の研究チームは、看護リーダーや初期消火といった非常時の役割ごとに、その活動内容を記したばがきサイズの「アクションカード(ACC)」を作成。小規模訓練で導入し、職員がひもで首から下げることで、活動手順を常に確認でき、スムーズに行動できるようになった。訓練に必要な時間は、以前の半分の約10分になったという。

また、小規模訓練の人員を職員5人と利用者3人に縮小することで業務への負担を軽減。訓練参加状況がわかるチェック表を作り、参加率が低い職員が参加しやすい日程で訓練を実施した。その結果、小規模訓練は21年6〜11月に11回行うことができ、9割の職員が2回以上参加することができたという。

久保さんは「効率的かつ実践的な訓練が行える環境を整えられた」と話し、「研究の成果を、大規模訓練や他施設との共同訓練でも生かしたい。より確実に利用

者の命を守るよう、効果的な方法を模索したい」と意気込んだ。

NHKローカル
30日(午後6時30分)
▽現場を再現! "3Dレジャー"活用した交通安全教室▽おしえて南さん! 気象予報士の南利幸さんが詳しく解説

あすのこよみ
12月1日(木曜日)
旧暦11月8日=赤口

日出 6:48
日入 16:49
月出 13:04
月入

満潮 干潮
神戸港 15:44 7:11
明石港 17:07 8:45
姫路港 4:26 0:03
大阪港 15:39 7:04

小潮 月齢 7.2

神戸	姫路	洲本	三田	豊岡	丹波
午前 晴 20	午前 晴 20	午前 晴 20	午前 晴 20	午前 晴 50	午前 晴 20
午後 晴 17	午後 晴 17	午後 晴 17	午後 晴 15	午後 晴 16	午後 晴 15
夜 晴 15	夜 晴 15	夜 晴 15	夜 晴 15	夜 晴 16	夜 晴 15
降水確率 最高 20	降水確率 最高 20	降水確率 最高 20	降水確率 最高 20	降水確率 最高 50	降水確率 最高 20
最低 15	最低 15	最低 15	最低 15	最低 16	最低 15
予想気温 13	予想気温 12	予想気温 11	予想気温 10	予想気温 9	予想気温 9
1(木) 30	1(木) 30	1(木) 30	1(木) 30	1(木) 60	1(木) 30
2(金) 30	2(金) 30	2(金) 30	2(金) 30	2(金) 50	2(金) 30
3(土) 10	3(土) 10	3(土) 10	3(土) 10	3(土) 20	3(土) 10
4(日) 40	4(日) 40	4(日) 40	4(日) 40	4(日) 50	4(日) 40
5(月) 40	5(月) 40	5(月) 40	5(月) 40	5(月) 50	5(月) 40
6(火) 20	6(火) 20	6(火) 20	6(火) 20	6(火) 40	6(火) 20
最高 20.4	最高 19.5	最高 21.1	最高 20.0	最高 22.4	最高 20.8
最低 15.1	最低 14.9	最低 13.9	最低 13.5	最低 13.8	最低 13.6
最高最低 15.3	最高最低 12.0	最高最低 15.8	最高最低 6.9	最高最低 16.2	最高最低 10.9
最低最低 8.5	最低最低 4.9	最低最低 7.8	最低最低 1.9	最低最低 5.0	最低最低 3.6

YGスタジアム
ネット購入はコチラ! ↓
0677321184